

ツアーール  
「2R」とは

リサイクルとリユースの  
かしらもじ  
頭文字からとっているっぴ。



こたえ



「くらしとごみ」12ページに  
どんな風<sup>かぜ</sup>に書いてあるかな?



もし、地球がごみでいっぱいになってしまったら、どうしましょう? 地球を守り、限られた資源を大切に、うめ立て処分<sup>しゅぶんち</sup>地を長持ちさせるためには、まずはごみになるものを減らす「リデュース」と、くり返し大切に使う「リユース」、そして資源として活用する「リサイクル」の取り組みが大切です。

その中でも「リデュース」「リユース」の「2R」の取り組みが特に大切です。

ここが  
ポイント!



ツアーール  
2R... Reduce と Reuse の頭文字  
リデュース  
ごみになるものを減らす  
リユース  
くり返し大切に使う



3つの  
取り組み  
のうち、  
特に大切な  
ツアーール  
「2R」は、

「リデュース」と「リユース」ですね!  
皆さんでこの2つにしっかり取り組みれば、  
ごみはもっと減らせそうですよ。



リサイクルはとても大切な取り組みです。しかし、リデュースやリユースに比べて、回収したものを運んだり、製品化したりするときに、電気や燃料などのエネルギーが多く必要です。ごみを減らすためには、より環境にやさしいリデュースやリユースの2Rにすることが大切です。

かいせつ  
するよ!



ちょっと、ひっかけ問題だったかな。よく思い出してみてくださいね。

「リデュース (ごみになるものを減らす)」「リユース (くり返し大切に使う)」「リサイクル (資源として活用する)」の3つのうち、どれがまず大切だったでしょうか。

「リサイクル」もとても大切な取り組みですが、資源としてもう一度使える形にするには、多くの電気や燃料が必要となります。より、環境にやさしい「リユース」「リデュース」にまず取り組んでほしいので、「まずは2R、その次にリサイクル」と覚えてくださいね。